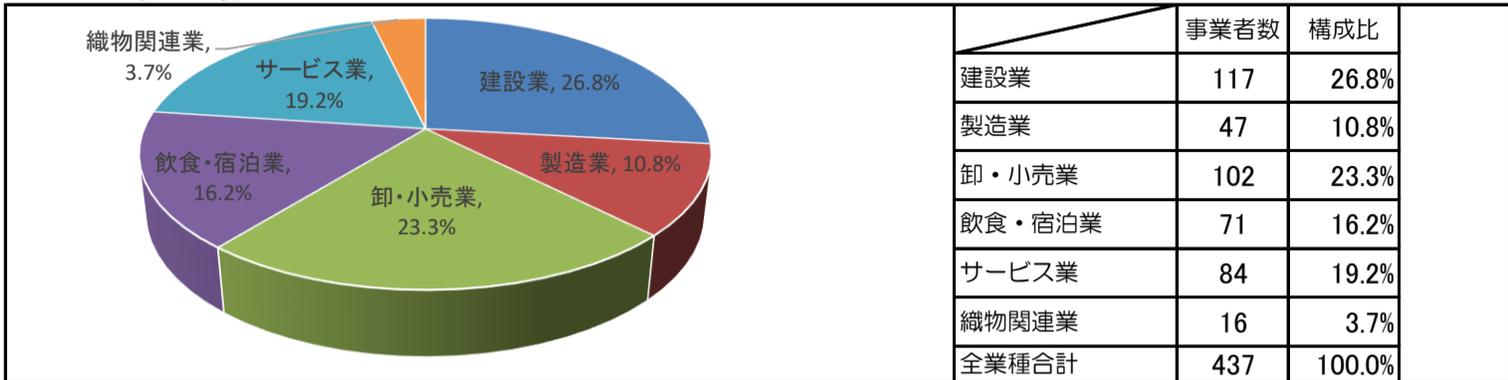


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R2.4.1~R2.6.30) 会議所地区

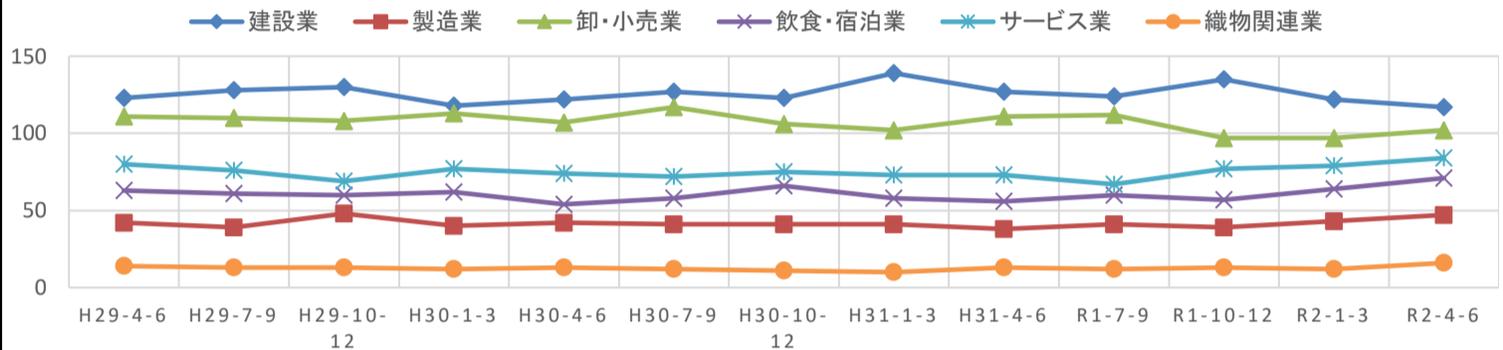
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

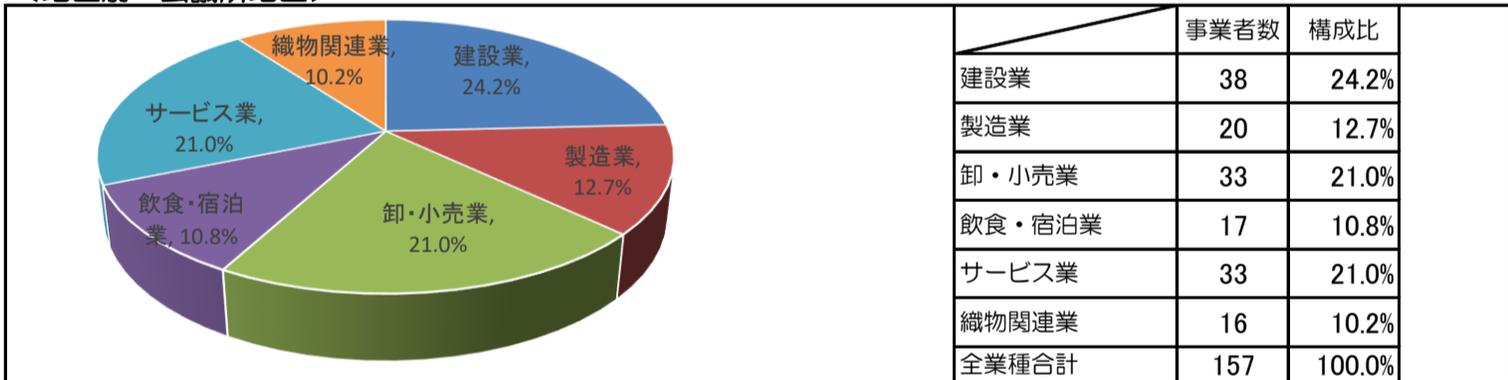


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

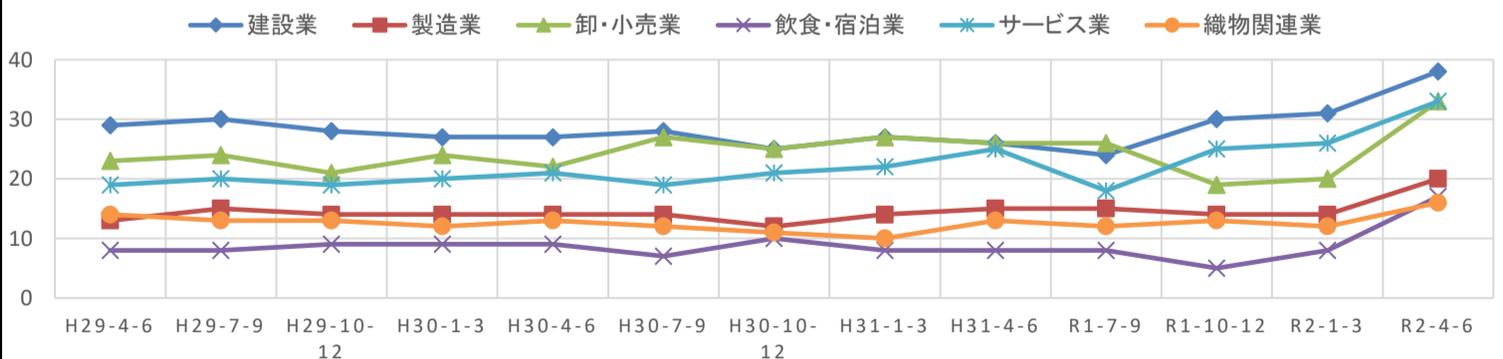


<コメント> 今回の調査から、十日町商工会議所と十日町市内5商工会地区のデータを統合して集計することとなり、前回までの調査よりも多くのサンプル数が得られている。業種も大きなバラツキのない構成割合となっている。なお、織物関連業は会議所地区のみが対象としているため、他業種よりもサンプル数が少ない。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



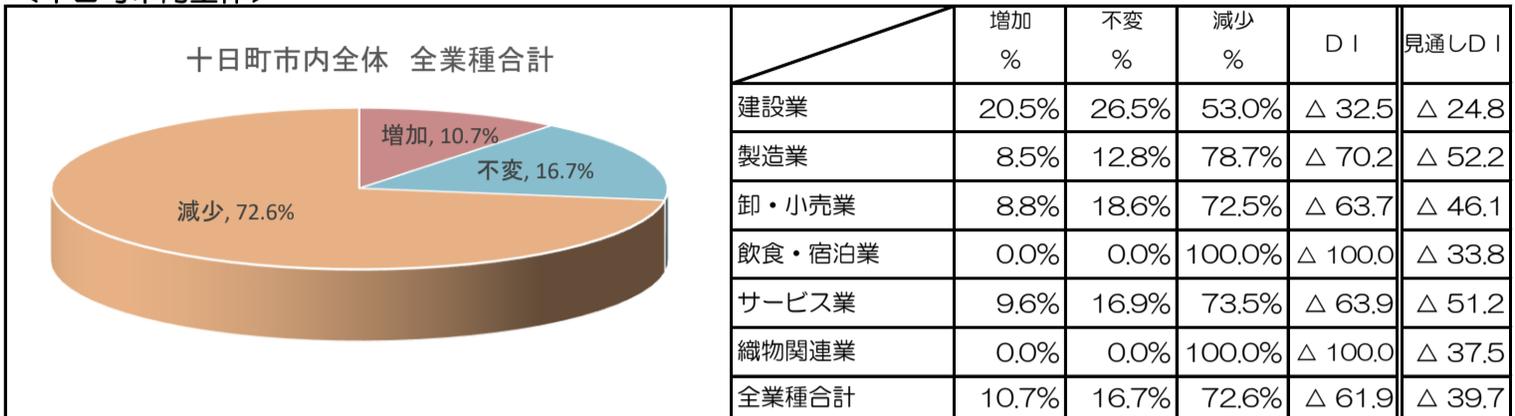
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布201事業所の内157事業所からの回答があり、回収率は78.1%であった。今回の調査から、青年部に入会している事業所も対象とした。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

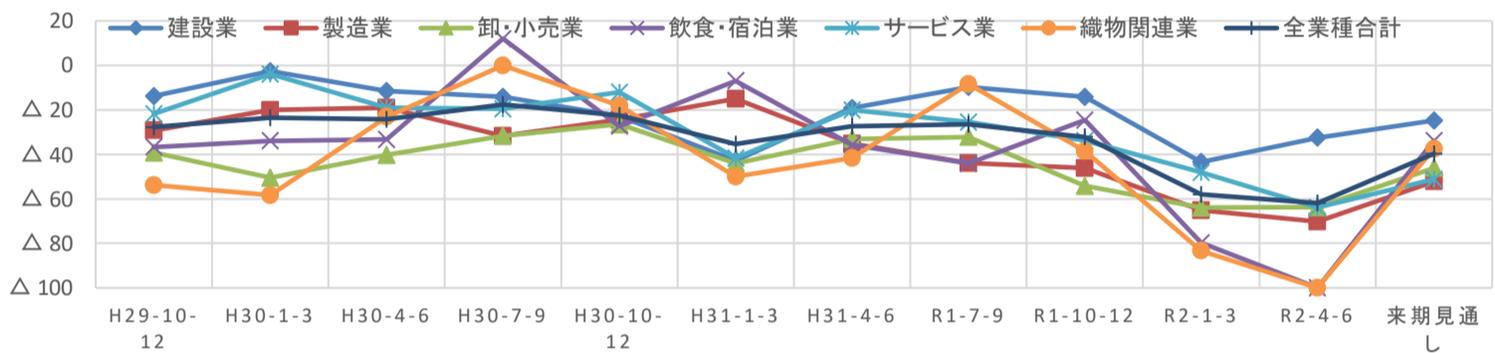
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

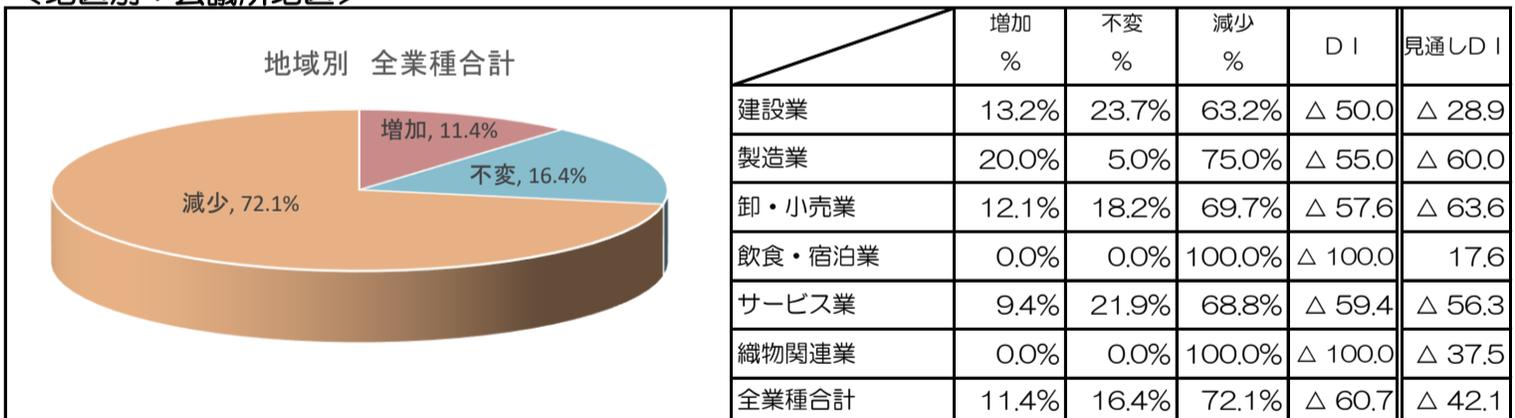


業種別売上の推移(市内全体)

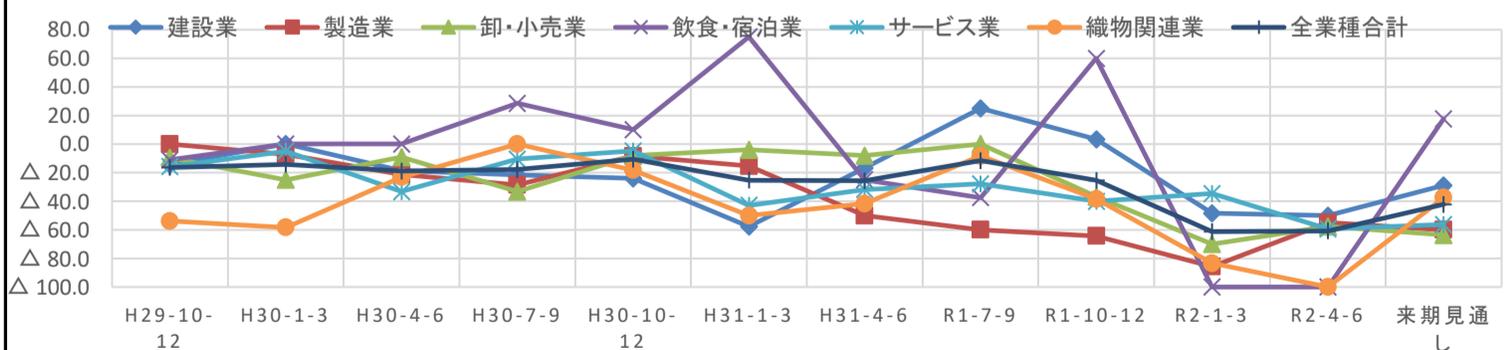


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△61.9ポイントで、前回調査時よりも3.9ポイント減少であった。建設業にて10.9ポイントの増加となっているが、製造業、飲食・宿泊業、サービス業で大きく減少している。特に飲食・宿泊業と織物関連業は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、△100ポイントと、過去に無い数値を示している。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移(地区別)



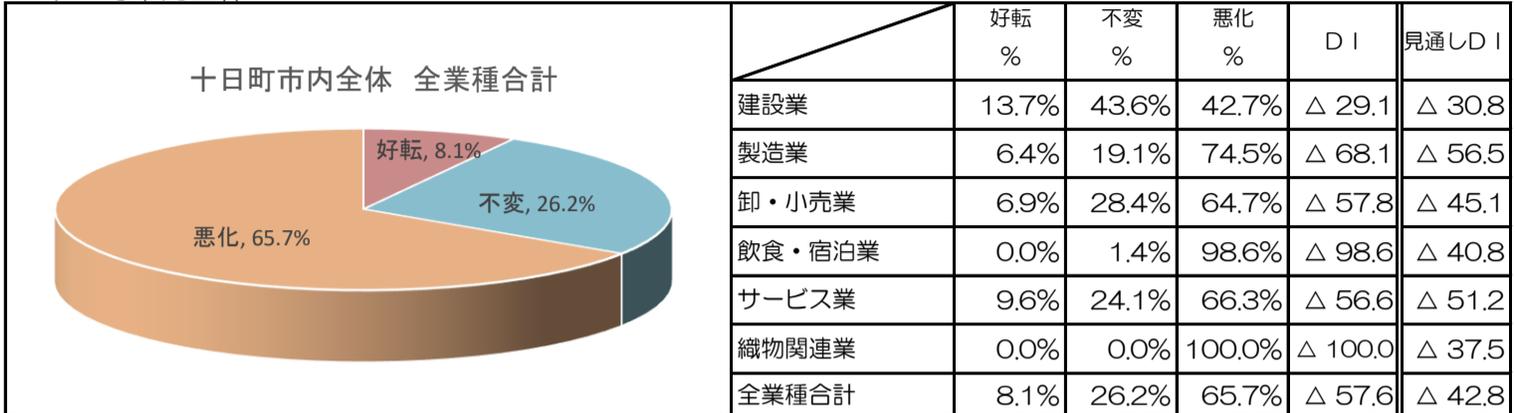
<コメント>

会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△60.7ポイント（前期比0.6ポイント減）であった。業種別にみると、飲食・宿泊業で△100ポイント（前期比プラスマイナスゼロ）、織物関連業で△100（前期比16.7ポイント減）となっている。新型コロナウイルス感染症の影響とみられる。

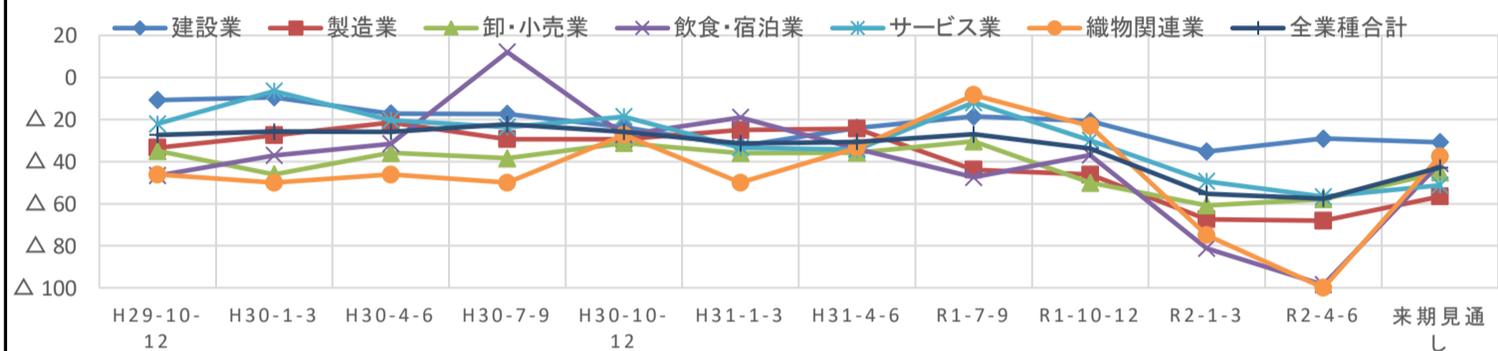
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

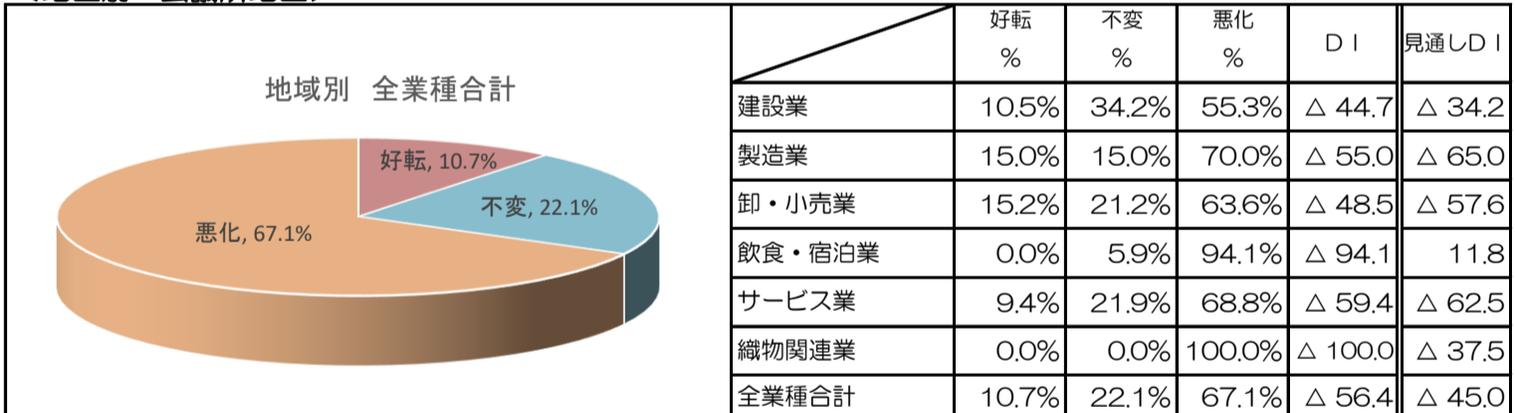


業種別採算の推移(市内全体)

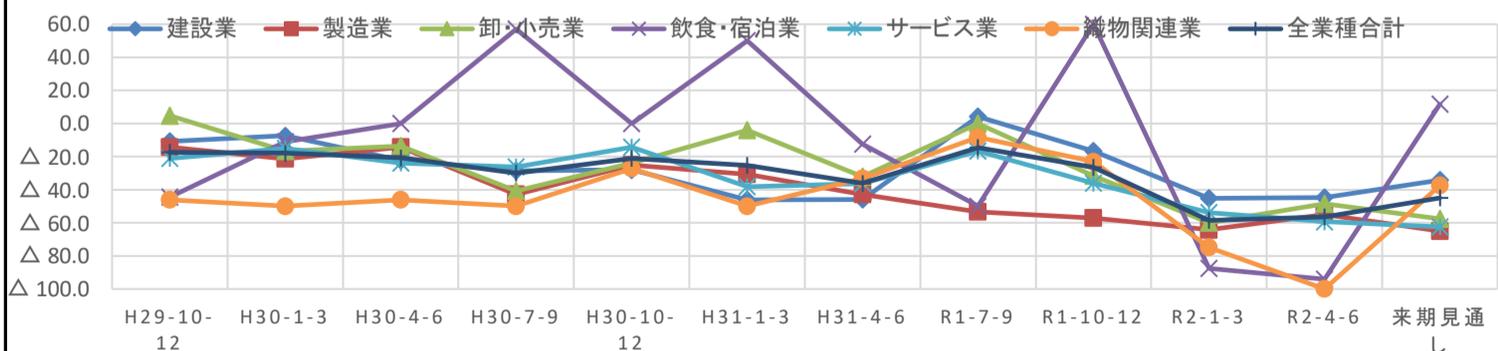


<コメント> 十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△57.6ポイントで、前回調査時よりも2.2ポイントの悪化となっている。業種別採算状況も売上状況と同様で、製造業、飲食・宿泊業、サービス業にて悪化が示されている。ただし、来期見通しにて今期よりも好転予測されている業種が多く、今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

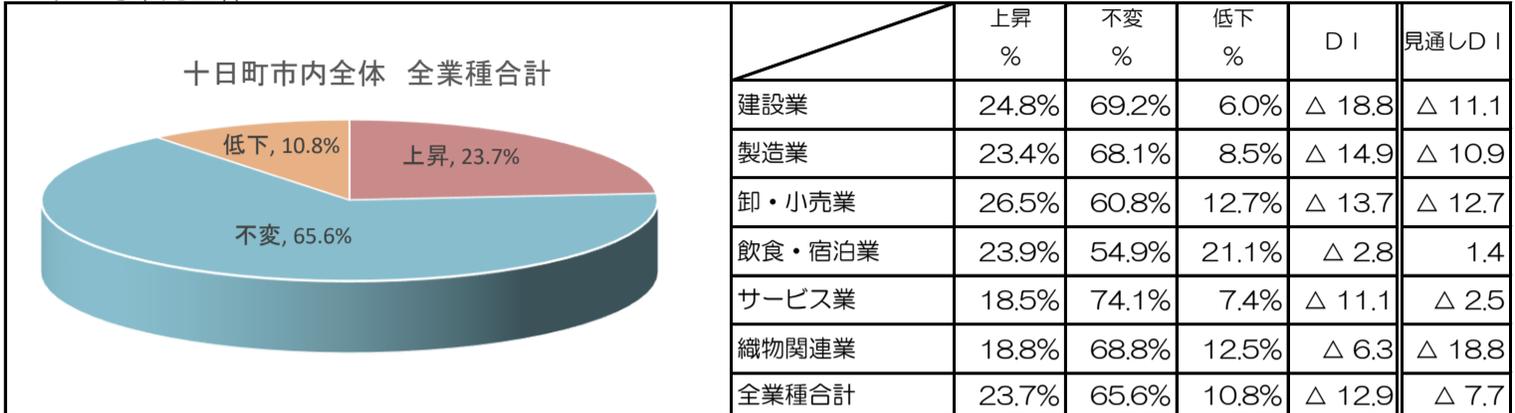


<コメント> 会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△56.4ポイント（前期比2.1ポイント増）であった。業種別にみると、織物関連業で△100ポイント（前期比25ポイント減）、飲食・宿泊業で△94.1ポイント（前期比6.6ポイント減）と悪化しているが、来期見通しにおいて好転予測も一部あり、新型コロナウイルス感染症の一定の収束を期待したい。

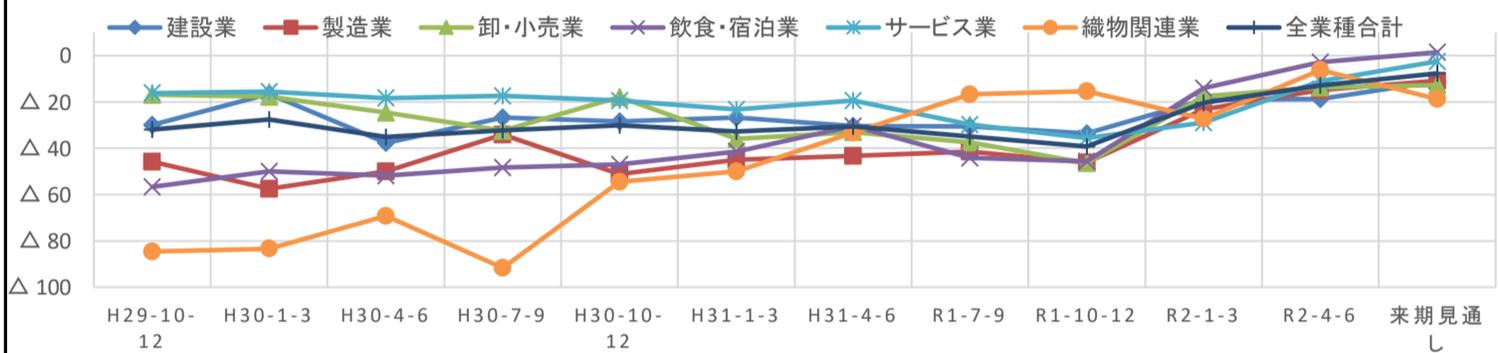
3. 仕入単価について

・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



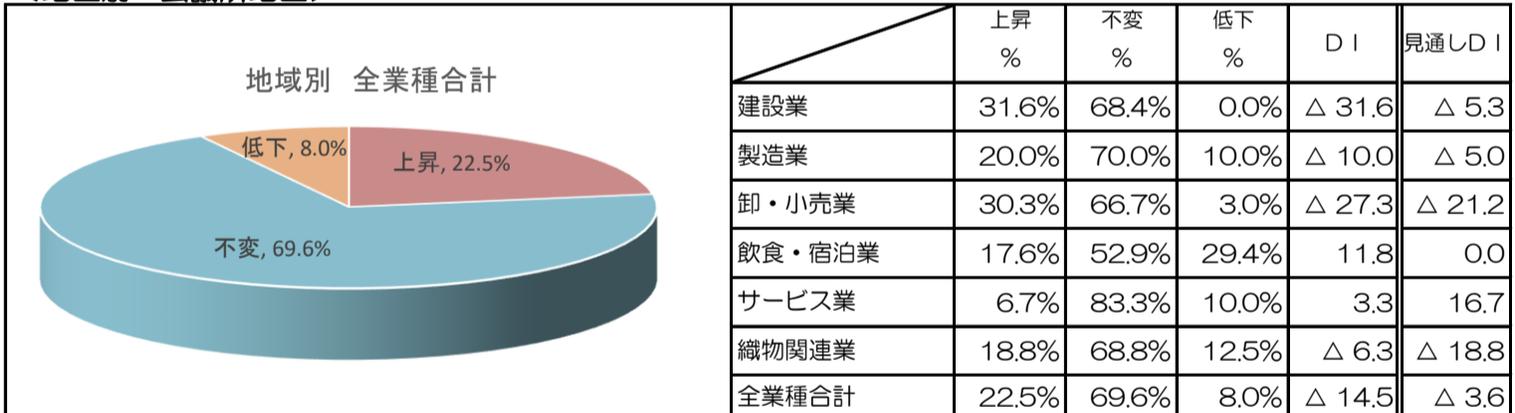
業種別仕入単価の推移(市内全体)



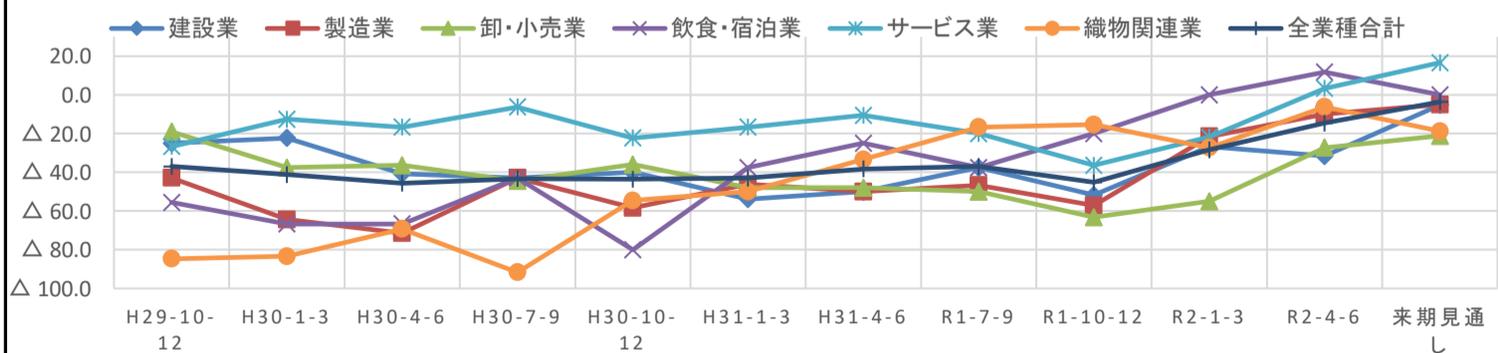
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△12.9ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイント低下であった。不変回答が多いものの、ほぼ全業種で低下となっており、来期見通しにおいても今期よりも低下するものと予測されている。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

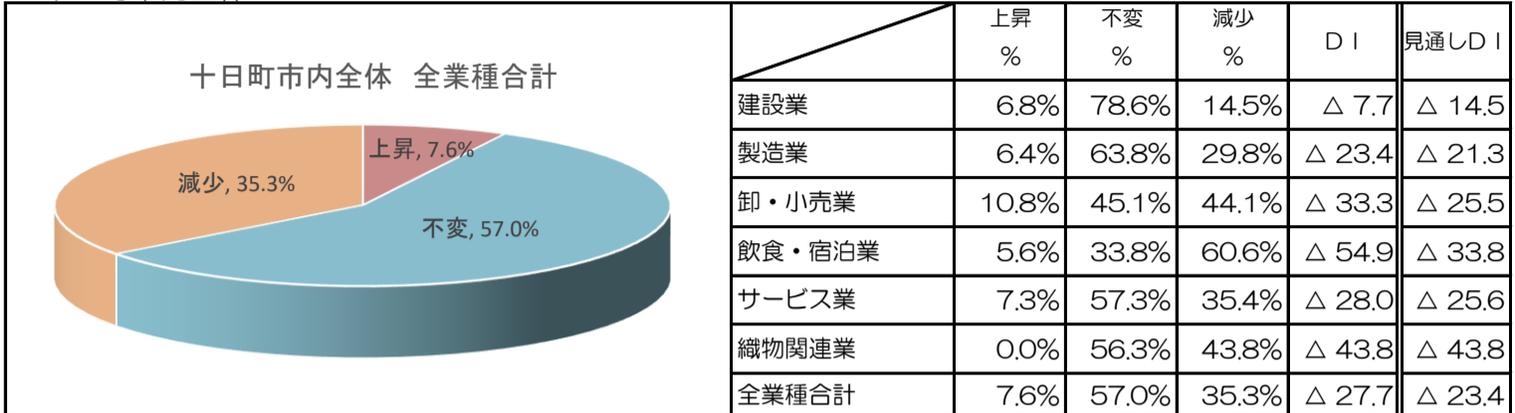


<コメント> 会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△14.5ポイント（前期比13.8ポイント低下）であった。業種別にみると、建設業で△31.6ポイント（前期比5ポイント増）と悪化した。その他の業種で単価の低下がありこのような結果となっている。来期見通しの全体DI値は低下予測されているものの、飲食・宿泊業と織物関連業で単価上昇予測があり、注視しなければならない。

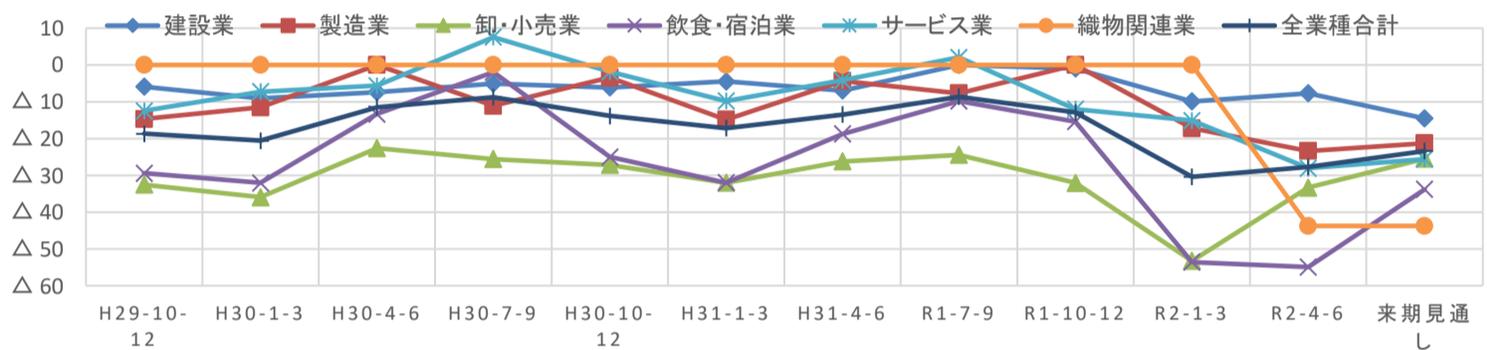
4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

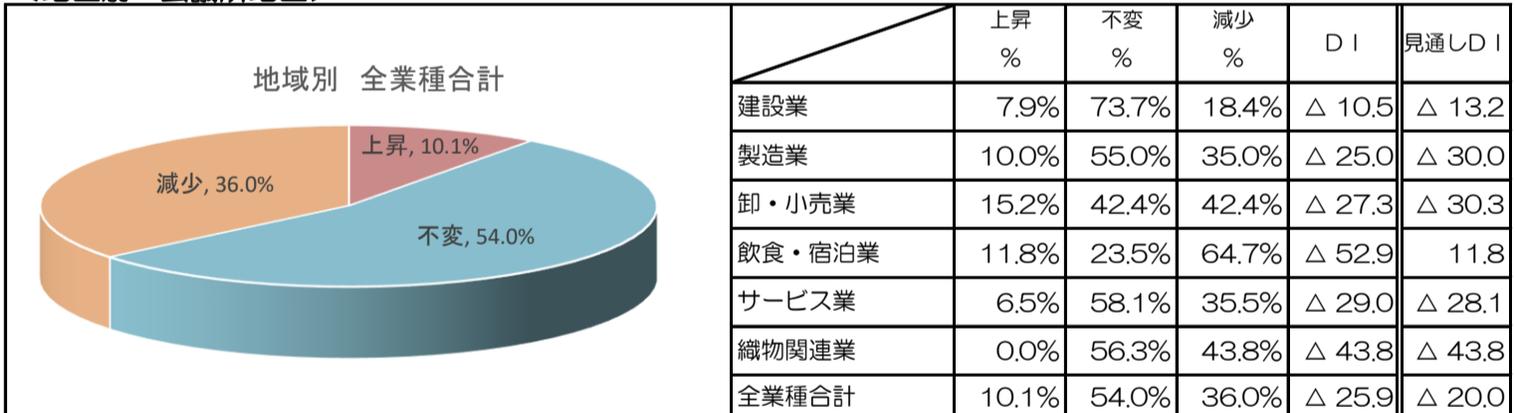


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

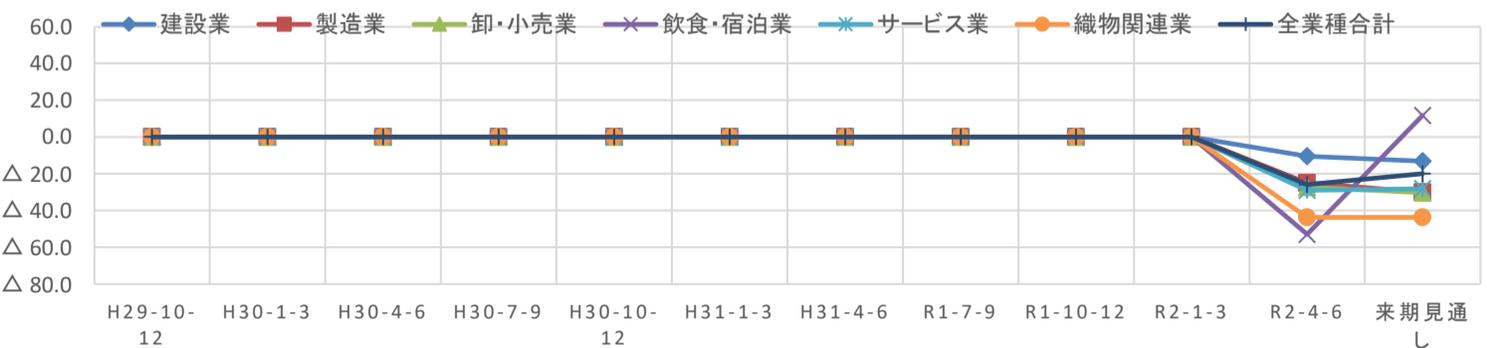


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△27.7ポイントで、前回調査時よりも2.7ポイント上昇であった。卸・小売業にて20.0ポイント上昇が見られ、新型コロナウイルス感染症の関係で「ステイホーム」が実施されたことがこのような結果となっているものと推測できる。飲食・宿泊業で厳しい状況がうかがえるが、来期見通しの上昇予測に期待したい。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

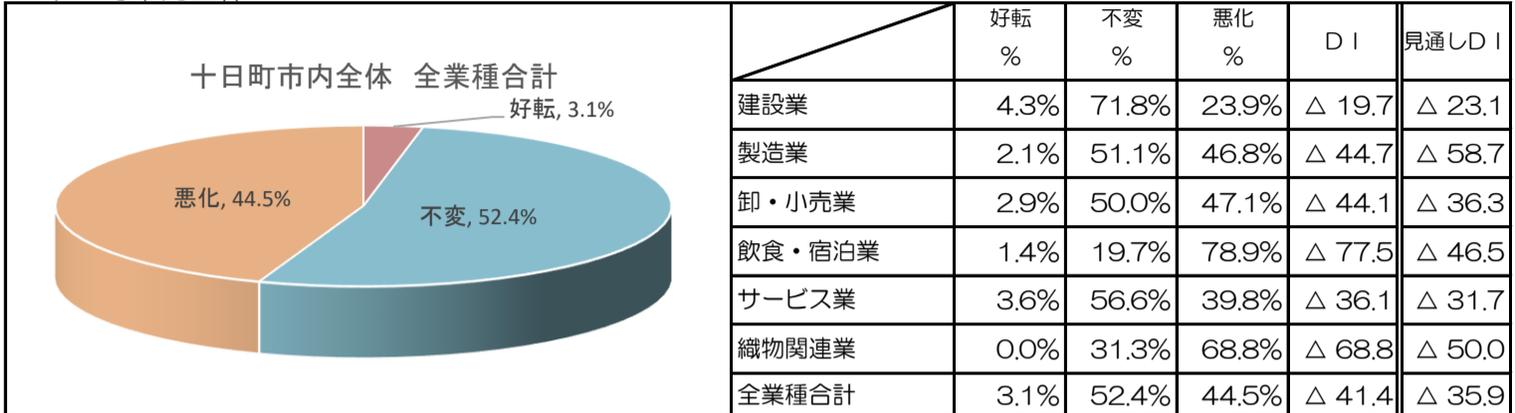


<コメント> 会議所地区の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△25.9ポイントであった。業種別にみた場合も、全業種でマイナスのポイントとなっている。
※会議所地区では、今回から販売（客）単価の状況について設問を設けた。

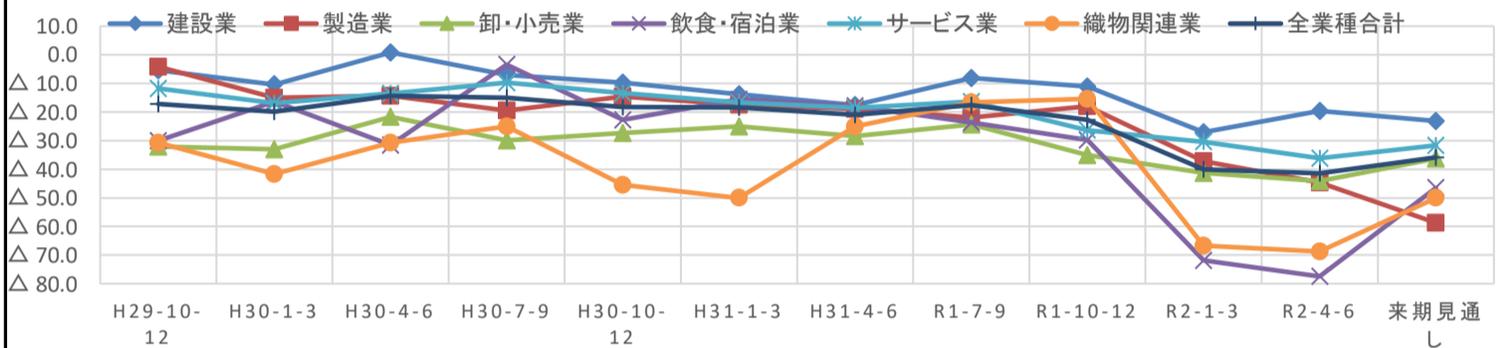
5. 資金繰りについて

・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

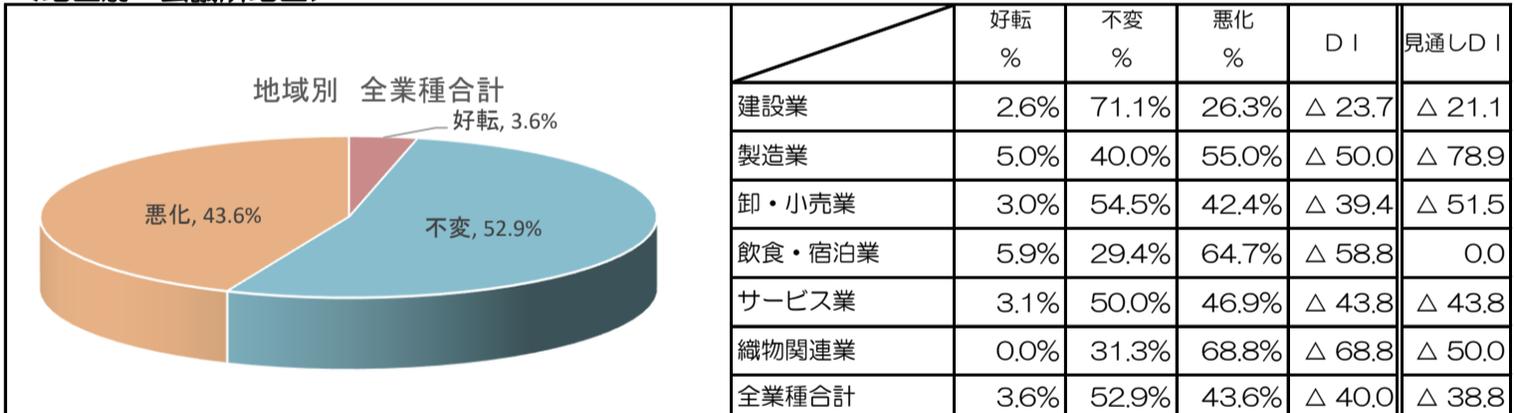


業種別資金繰りの推移(市内全体)

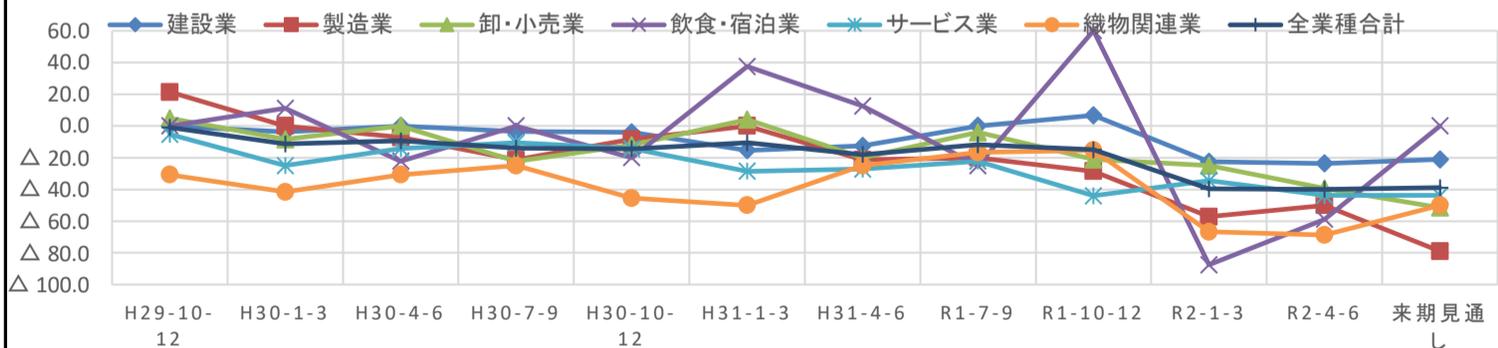


<コメント> 十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△41.4ポイントで、前回調査時よりも1.3ポイントの悪化であった。業種別では売上状況と同様で、建設業で好転となっているがその他の業種で悪化が示されており、特に飲食・宿泊業にて大きなマイナスポイントが続いている。来期見通しの回復予測に期待したいところである。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

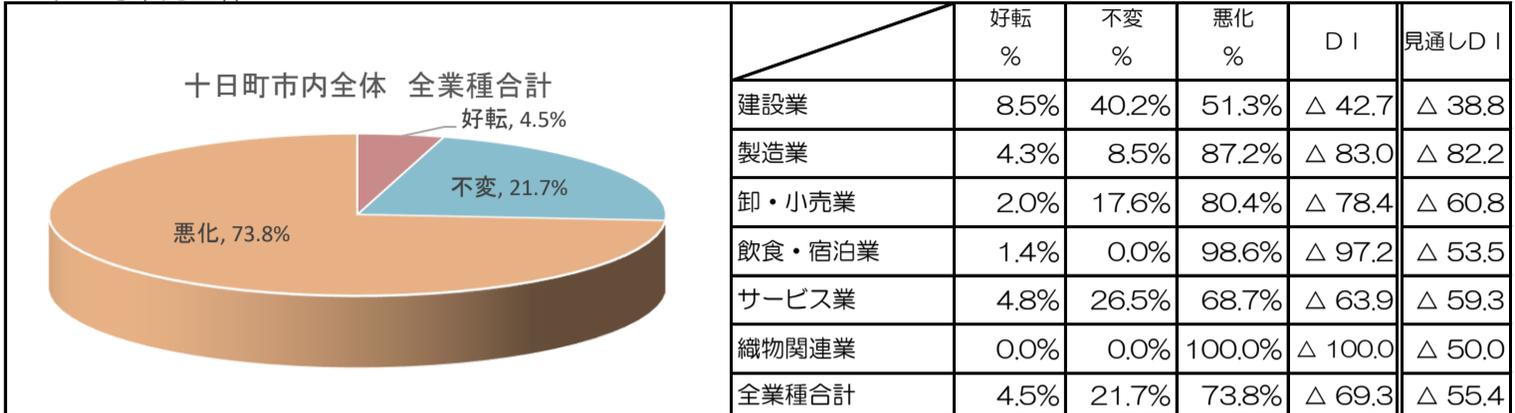


<コメント> 会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△40.0ポイント（前期比0.4ポイント減）と悪化した。業種別にみると、飲食・宿泊業で△58.8ポイント（前期比28.6ポイント増）、製造業で△50.0ポイント（前期比7.1ポイント増）と好転はしたが、いずれにせよ低い数字となっており、厳しい状況となっている。

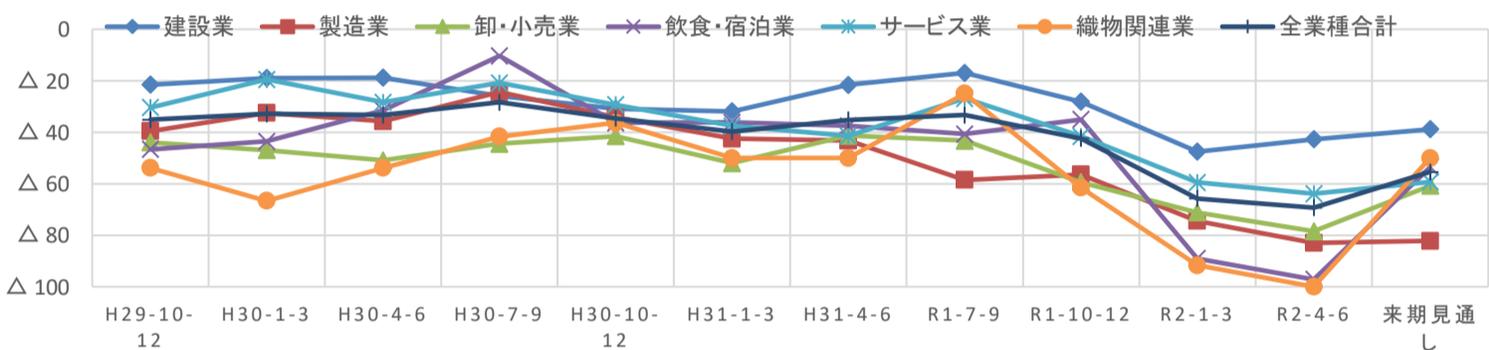
6. 景況判断について

・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

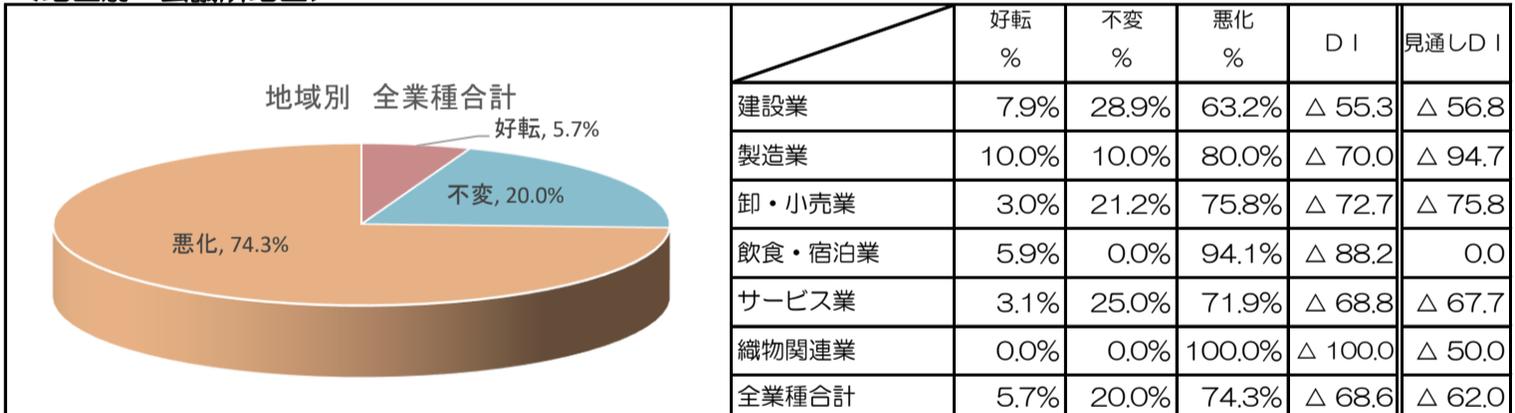


業種別景況判断の推移(市内全体)

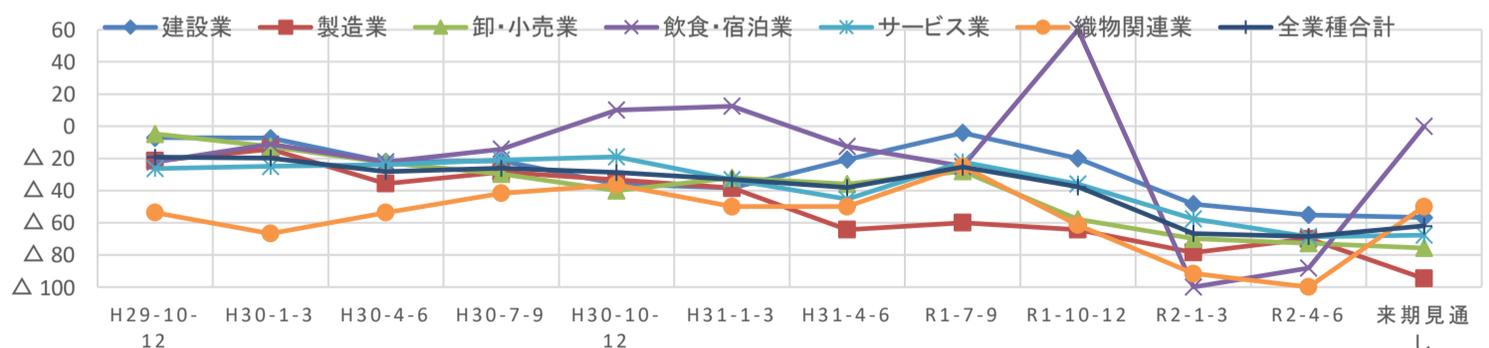


<コメント> 十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△69.3ポイントで、前回調査時よりも3.6ポイントの悪化であった。建設業のみ前回調査時よりも好転であったが、その他の業種は悪化が示されており、多くの業種にて新型コロナウイルス感染症の影響があったものと推測できる。来期見通しにおいて全ての業種で今期よりも好転予測があり、今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



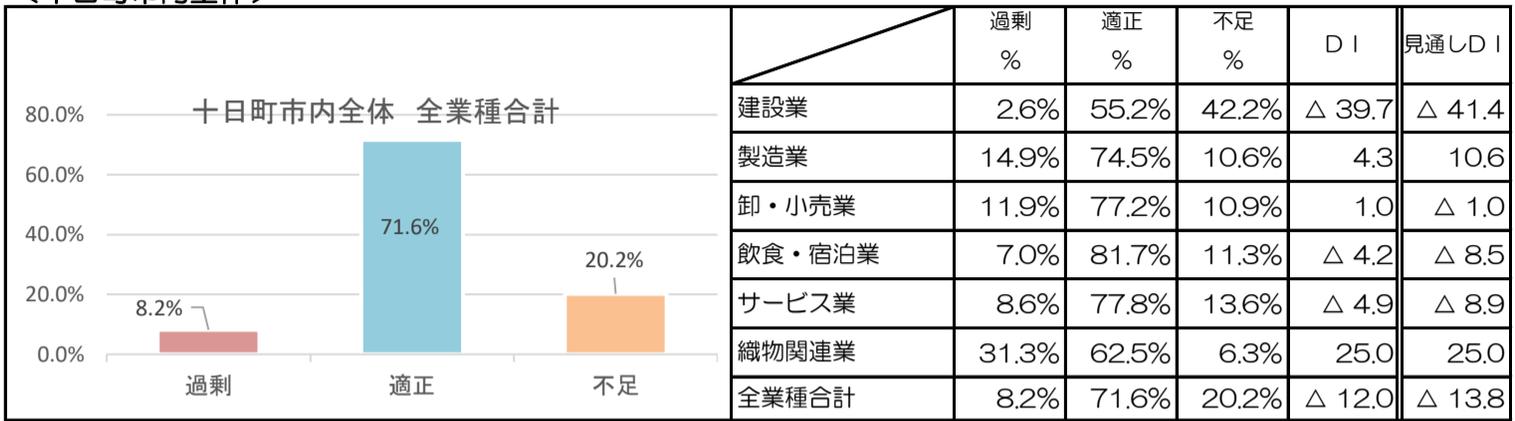
<コメント>

会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△68.6ポイント（前期比1.9ポイント減）と悪化した。業種別にみると、飲食・宿泊業で△88.2ポイント（前期比11.8ポイント増）、製造業で△70.0ポイント（前期比8.5ポイント増）と好転はしたが、それ以外の業種は全て悪化した。

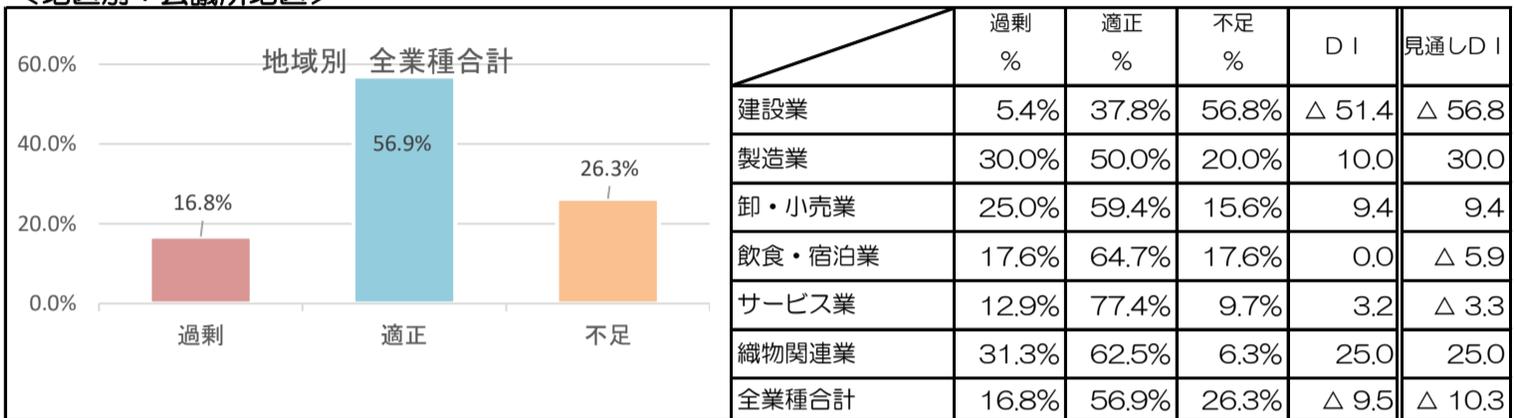
7. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



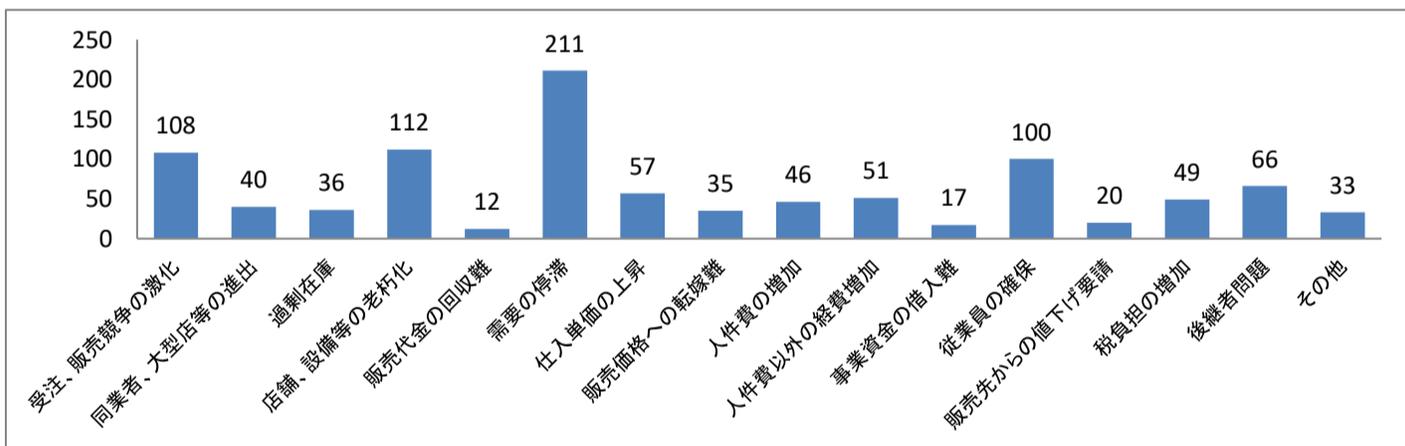
<地区別：会議所地区>



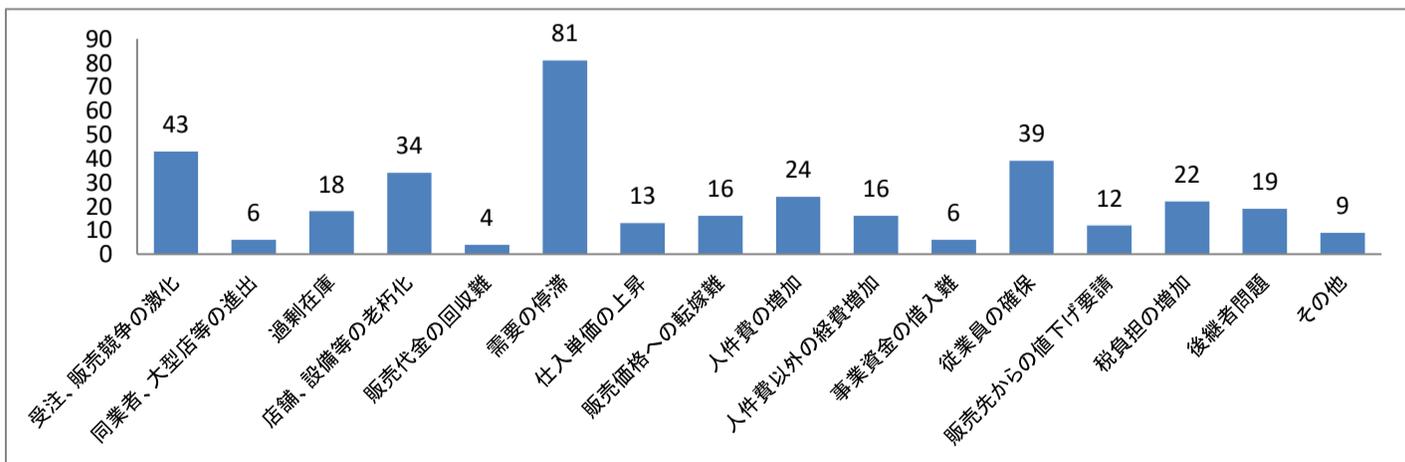
<コメント> 今期の従業員数（雇用動向）は、市内全体で8.2%の過剰と20.2%不足があり、特に建設業での不足が大きく出ている。会議所地区の状況は、適正回答が一番多いものの、建設業にて不足回答があり、従業員不足を感じている事業所は全体の約3割であった。織物関連業（DI値：25.0ポイント）をはじめ、多くの業種で従業員の過剰を感じている状況である。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント> 今期調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「店舗、設備等の老朽化」3位が「受注、販売競争の激化」であった。次いで多いのが「従業員の確保」であり、3位と4位の回答数も僅差であり、人材不足が今後の地域の課題と言えそうである。会議所地区の経営上の問題は、1位が「需要の停滞」2位が「受注、販売競争の激化」3位が「従業員の確保」であった。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

<p>【建設業】 今期の建設業の状況は、売上、採算、資金繰りにおいて前回調査時と同様のポイントで推移している。仕入単価、景況判断については前期と比較して悪化回答が多くあった。来期見通しにおいて、売上減少や資金繰り悪化の回答が多くあり、今後の動向を注視したいところである。経営上の問題点では「従業員の確保」が一番多く回答されている。</p>
<p>【製造業】 今期の製造業の状況は、前期と比較して全ての項目においてポイントが上昇した。しかし来期見通しにおいて、売上、採算、資金繰りの悪化の回答が多くあり、今後の動向に注視したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p>【卸・小売業】 今期の卸・小売業の状況は、売上、採算において、前回調査時と比較して上昇を示しており、「ステイホーム」による一般消費の増加があったものと推測できる。ただし、来期見通しにおいては悪化予測されており、実際の数値に注目したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」と「店舗、設備等の老朽化」が多く回答されている。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 今期の飲食・宿泊業の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響を一番受けた業種でもあり、4月～5月はほぼ休業状態だったことから売上、採算において減少(悪化)を示している。来期見通しでの回答予測が実際どこまで伸びるかに注目したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p>【サービス業】 今期のサービス業の状況は、売上において減少が示されており、採算、景況判断も悪化となっている。来期見通しにおいても悪化予測されていることから、実際の数値に注目したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p>【織物関連業】 今期の織物関連業の状況は、小売店の休業や全国的な消費者販売会の中止が大きな要因となり売上、採算において減少(悪化)を示している。来期見通しにおいても減少(悪化)回答が多くされていることから、今後の動向を注視したいところである。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>